

イーストスプリング・インドネシア株式オープン 5月7日における基準価額の変動について

受益者向け資料
2018年5月8日

2018年5月7日、当社が運用する「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」の基準価額が前営業日比で5%以上下落しましたので、お知らせいたします。

ファンド名	5月7日 基準価額	5月2日 基準価額	前営業日比	騰落率
イーストスプリング・インドネシア株式オープン	8,729円	9,224円	-495円	-5.37%

※基準価額は、信託報酬控除後の数値です。

【基準価額の下落要因となった主な市場の動き】

(ご参考) 株価指数	5月4日	4月30日	騰落幅	騰落率
ジャカルタ総合指数 (現地通貨ベース)	5,792.345	5,994.595	-202.25	-3.37%
(ご参考) 為替レート	5月7日	5月2日	騰落幅	騰落率
インドネシアルピア (対円、100ルピア)	0.78円	0.79円	-0.01円	-1.27%

出所：株価指数はBloomberg L.P.のデータ、為替レートは一般社団法人投資信託協会が発表する為替レートに基づく。
ジャカルタ総合指数は、ファンドの基準価額に使用した投資対象ファンドの価格算出に適用される前日の終値を使用。

基準価額下落の背景： 米ドル高が進行、多くの新興国株式市場が調整局面に

米国の利上げペースの加速懸念を受けて、4月下旬より米国債利回りが上昇し、米ドル高となっています。このような環境下、多くの新興国市場において、株式、債券、為替ともに調整局面を迎えています。

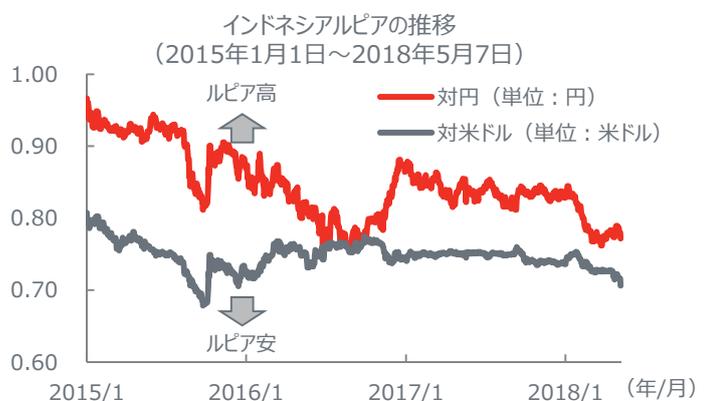
先週のインドネシアの金融市場も、株式、債券、為替のトリプル安となりました。対米ドルで通貨ルピアが大きく下落し、同国の中央銀行は市場安定化のために為替介入を行いました。日本はゴールデンウィークを挟み営業日が限定的であったこともあり、「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」の7日の基準価額は前営業日比で5.37%の下落となりました。

今後の見通し： 変動性の高い市場環境を注視しつつ、 良好なファンダメンタルズの継続を見込む

インドネシア経済のファンダメンタルズは良好で、2018年の実質国内総生産（GDP）成長率は前年比+5.3%（IMF）と予想されています。インフレは安定し、国内消費にも回復の兆しが見られます。

4月13日に米国の大手格付け機関ムーディーズは、インドネシア政府による財政や金融政策への取り組みを評価して同国の長期債務格付けをBaa3からBaa2に一段階引き上げました。

市場の変動性は高まっていますが、中長期的には堅調な企業の業績成長が見込まれています。当社では、市場が落ち着きを取り戻す過程において、長期的に持続可能な収益性と比較して、割安と判断できる企業を選別する投資手法を維持する方針です。



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
*対円は100ルピア、対米ドルは10,000ルピア当たりの推移。
ジャカルタ総合指数はインドネシア証券取引所が公表している指数です。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 180508（01）

この資料は情報提供を目的として作成したものであり、特定の商品の投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたい事項を以下に記載させていただきます。

むさし証券の概要

商号等：むさし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

リスクについて

国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券(上場有価証券等)の売買等に当たっては、株式相場、金利水準等の変動や、投資信託、投資証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等(裏付け資産)の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格等が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。

◎ 上場有価証券等が外国証券である場合、為替相場(円貨と外貨の交換比率)が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外国証券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外国証券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。

※ 裏付け資産が、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等である場合には、その最終的な裏付け資産を含みます。

※ 新規公開株式、新規公開の投資証券及び非上場債券等についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等諸費用について

当社取り扱いの商品等にご投資いただく場合

各商品毎の所定の手数料をご負担いただく場合がありますが、商品毎に異なるため、ここでは表示することができません。

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

投資信託につきましては、手数料の他、信託報酬等・その他の費用(監査費用、運営・管理費用等)等を御負担いただきますが、これらの費用等は、事前に計算できませんので表示しておりません。

当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

【広告審査済】